2022 年度事業活動報告

MBT の目的・事業価値は、医学の知識を基礎とする①新産業創出（新製品開発）、②まちづくり、③社会貢献、である。

その目的・事業価値達成に向けて、Ⅰ、部会・分科会活動、Ⅱ、MBT ロゴマーク付与活動、Ⅲ、奈良医大発ベンチャーの起業伴走支援、Ⅳ、展示会参加による活動・成果 PR、Ⅴ、広報活動、等を中心に取り組みを進めた。

以下に、これらの取り組みの主要な活動や成果を紹介する。

Ⅰ．部会・分科会活動

・2022 年度は、新たな部会の誕生は無かったが、2021 年度末に発足した在宅遠隔医療部会は、１）全国対応分科会、２）地域支援分科会、３）在宅看護分科会、の 3 つの分科会に分かれて活動を推進した。

・2022 年度もコロナ禍の収束が見えず、会員企業関係者が一堂に会するとか、対面で頻繁にテーマ検討を行う、などができ難い状態が続いた。その中にあって、一部の部会ではコロナ禍の影響を感じさせない活動も展開できた。

・下記に 2022 年度末時点での部会・分科会の一覧を示す。

ＭＢＴコンソーシアム部会活動状況　　（2023．3現在）

No	部会名	分科会名	活動概要	奈良医大関係者	関係会員企業
1	**感染症部会**	**ＭＢＴコロナ患者見守り分科会**	スマホアプリを用いた患者見守り実用化	笠原(敬）教授他	KCN㈱
		ＭＢＴ感染症外来分科会	コロナ感染予防 プレハブ型診察外来実用化	笠原（敬）教授	大和リース㈱他
		ＭＢＴコロナ不活化分科会	オゾンなどによるコロナ除菌実用化	矢野教授	タムラテコ㈱他
		ＭＢＴリンク活用見守り分科会	MBT LINKを活用した患者見守り実用化	梅田研究教授	MBTリンク㈱
		MBTコロナ対策・企業相談分科会	企業のコロナ対策を医学の知識を提供して無料相談	笠原(敬)教授	日本経済新聞社他
2	**食品衛生部会**		食の評価・医学的検定		
3	**アンチエージング部会**		認知症予防や進行評価		
4	**通信部会**		次世代通信応用システム実用化	梅田研究教授	富士通Japan ㈱他
5	**万博テーマ部会**		万博会場実証テーマ提案	細川担当教授	
6	**ビッグデータ活用部会**		ビッグデータとAI連携で新ビジネス創出		凸版印刷㈱他
7	**スマートコミュニティ部会**		再生エネルギー活用による新システム創出、環境改善		関西電力㈱他
8	**医療福祉環境におけるアート研究部会**		健康とウェルビーイング向上に有用なアートを研究		健康都市ﾃﾞｻﾞｲﾝ(研)他
9	**MBT研究所産学連携部会**		幼児から高齢者までの健康見守り実用化	梅田研究教授	MBTリンク㈱
10	**産学金連携･フリーディスカッション部会**		奈良医大と会員企業とのシーズ・ニーズマッチング	細川担当教授	会員企業全般
11	**難病克服部会**	**普及分科会**	ロゴマーク付き協賛商品販売による普及活動		協賛企業37 社
		セミナー分科会	難病に関わる現状の啓発活動	杉江教授	
		映画分科会	映像による難病の啓発活動	川口教授	
12	**在宅遠隔医療部会**	**全国対応分科会**	富裕層を対象にした全国ネットワーク対応型MBTモデルの検討	梅岡MBT講師	医療法人梅華会
		地域支援分科会	奈良県中和地域の在宅医療支援を通して機材やサービス検討	西尾教授	エア・ウォーター㈱他
		在宅看護分科会	へき地を支える在宅医療ケアを支えるハード、サービス検討	小竹教授	㈱イムラ他

以下に、主たる部会・分科会の活動概要を記す。

１）感染症部会

１）－１．MBTコロナ不活化分科会

・新型コロナウイルス不活化評価は、奈良医大発ベンチャー企業“MBT微生物学研究所㈱”（代表取締役社長：矢野寿一）の発足後は活動をシフトし縮小した。

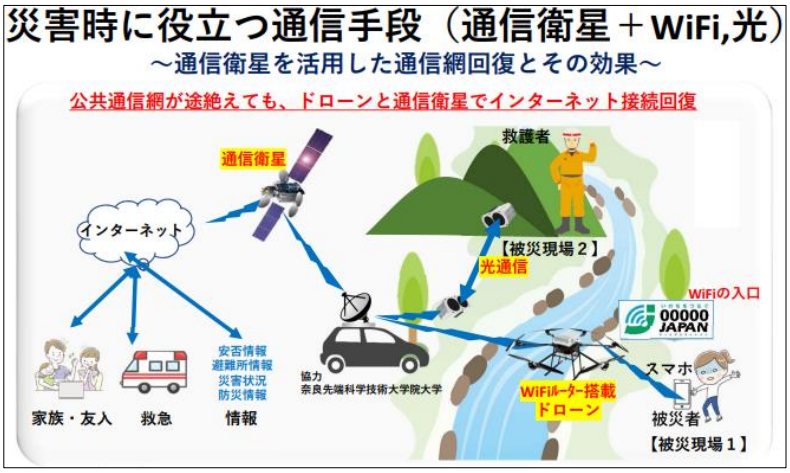
１）－２．　MBTコロナ対策・企業相談分科会

・コロナ感染対策相談は、奈良医大発ベンチャー企業“MBT感染対策支援コンサルティング㈱”（代表取締役：笠原敬）の発足後は活動をシフトし縮小した。

２）通信部会

・2022年10月23日（日）、奈良県橿原市の橿原運動公園を会場に、3年ぶり開催の奈良県防災総合訓練に会員企業（近鉄ケーブルネットワーク㈱、㈱三技協、セコム㈱、㈱タカゾノ）、奈良先端科学技術大学院大学、奈良県立医科大学が連携して参加した。

・今年度は、無線中継装置やWiFi基地局をドローンに搭載させ、インターネット接続可能な衛星通信回線の利用を広げ、災害最前線でインターネット接続も不可能に陥った環境でも被災者手元のスマホを用いて通信を可能にするデモを行った（下図）。また、会員企業4社の防災や災害時に関わるグッズ展示を行って、来場者に新しい可能性を提案した（下写真）。



３）万博テーマ部会

・2025年大阪・関西万博を3年後に控えて、関西の各地域で開催時期に合わせて独自の地域PRを行おうとする試みがなされている。

・その一環で、2022年11月5，6日に、東大阪市が2025年を見据えて花園中央公園を会場に「HANAZONO EXPO」を開催した。奈良医大とMBTコンソーシアムはMBTヘルスケアの取り組みをPRする格好の機会と捉え“ヘルスケアとリラックスをもたらすパチンコやゲーム”を出展して、多くの参加者に体験していただいた（下写真）。

４）ビッグデータ活用部会

・内閣府の委託事業「新たな沖縄観光サービス創出支援時事業」を凸版印刷㈱が受託し、ヘルス/ウェルネスコンセプトをベースとした新たな観光コンテンツ＆サービスの開発を目指した。サービスの開発に際し、客観的な効果の指標を得るための環境センサー、バイタルセンサーを現地宿泊施設やモニター参加者に協力を得て設置し、MBTリンクシステムでデータを集約した。データの分析には本事業の有識者としても参加の奈良医大；梅田教授に協力していただき、コンテンツの開発に期待できる効果が確認することができた。その内容は内閣府に提出する事業報告書に記載した。

５）スマートコミュニティ部会

・スマートコミュニティ、再生可能エネルギー、未利用エネルギー等の先進事例をご紹介した上で、現地見学会の開催を予定していたがコロナ禍で開催に至らなかった。

・改めて、次年度に開催できるよう、準備を進めていく。

６）医療福祉環境におけるアート研究部会

・「健康と Well-being の向上に役立つ良質なアート」に関するアーティストやデザイナーを対象に、若手育成を含めたオンラインコンペティションを開催するにあたり、まずは、アーティストからの視点で「健康と Well-being の向上に役立つ良質なアート」とは何か、また、オンラインコンペティション開催について、意見交換を行った。
また、ワークショップによるアート製作の機会を設け、病院関係者がアート製作に参加することによる効果についても考える機会を得た。

７）MBT研究所産学連携部会

・ICT、センサーを活用した健康増進・予防・介護サービスに係る実証実験を国内外の複数地域にて実施した。

・令和3年度補正予算デジタル田園都市国家構想推進交付金に北海道更別村とともに「更別村 Super Village構想」を提案し、最上位のType3に採択された。

・また、大和平野中央田園都市構想推進事業で「ウェルネスタウン」を提案・採択され、住人約50人を対象にMBTリンクシステムを使った健康見守り実証実験を行った。

・生体×心理×環境×行動×・・・の統合データから個人のライフスタイルを評価し、ライフスタイルスコアを提示して最適な健康アドバイスができるシステムを構築中。

８）産学金連携・フリーディスカッション部会

ⅰ）MBT 活動の狙いでもある産業創生をめざして、奈良医大の研究者が保有する研究成果や現場ニーズを聞き取り、会員企業への呼びかけやマッチングに関わる打ち合わせの場の設定を行い、議論を支援した。また、その場で出た課題や調査のフォロー、新たな議論の場の設定など対応を行った。

ⅱ）リハビリテーション医学講座（城戸顕教授、眞野智生准教授）・脳神経内科講座（杉江和馬教授）と株式会社三笠は、㈱三笠が保有する特殊編み技術を用いて手指機能強化手袋を開発した（右写真）。この手袋は 5 日間の装着でパーキンソン病患者の手指筋力を改善させる可能性があることを臨床研究で確認しており、2022 年 6 月 24 日にプレス発表した。

ⅲ）（一社）日本経済連合会「地域協創アクションプログラム」の一環として、2022 年 4 月 11 日に、「医学的に正しいコロナ対策によるＭＢＴビジネス活性化セミナー」を MBT コンソーシアム・奈良県立医科大学・経団連の共催で開催し、以下の講演を行った。

① 細井裕司 奈良医大理事長・学長

「MBT（Medicine-Based Town 医学を基礎とするまちづくり）～貴社の新ビジネスに医学を投入しませんか」＆「今後提案予定の企画について」

② 笠原敬 奈良医大感染症センター教授

「医学的に正しい新型コロナウイルス感染対策と実際の相談事例による具体策の提案」

また、2022 年 11 月 22 日には、経団連の関連部会会員、地域協創アクションプログラム連携パートナーが一堂に会する交流会が経団連会館で開催され、細井理事長とＭＢＴコンソーシアム関係者が参加した。

ⅳ）ベンチャー設立を目指す奈良医大教職員等に対するサポートを行った。この結果、新たに２社の奈良医大発ベンチャーが設立された。詳細はⅢ（頁８）で紹介する。

９）難病克服部会

・希少な疾患ゆえに社会から孤立しがちな難病患者の苦境を多くの人に理解いただく啓発活動として 2021 年 7 月から「MBT 難病克服キャンペーン」をスタートさせ、①協賛企業募集、②難病克服 WEB セミナー、③難病克服 MBT 映画祭、の３本柱の取り組みを分科会で行った。

・これらの取り組みの社会貢献性を PR し、ⅰ）奈良県、ⅱ）日本経済団体連合会、ⅲ）関西経済連合会、ⅳ）関西経済同友会、ⅴ）2025 年日本国際博覧会協会、ⅵ）関西文化学術研究都市推進機構、の 6 団体から後援名義使用許可を得た。

９）－１）普及分科会

・協賛企業を募集し、協賛企業によるキャンペーン広報活動をお願いした。協賛企業 37 社を以下に示す。

㈱三笠、クオール㈱、㈱電響社、㈱アイ・オー・データ機器、レック㈱、
カルテック㈱、（一財）弘済会、吉本興業㈱、大和リゾート㈱THE KASHIHARA、
㈱南都銀行、㈱三井住友銀行、MBT リンク㈱、明晃化成工業㈱、UHA 味覚糖㈱、
オーブ・テック㈱、ナノソリューション㈱、近畿日本鉄道㈱、オーニット㈱、
㈱Bonrich、シンクス㈱、日本生命保険（相）、大樹生命保険㈱、㈱フジタ、
損保ジャパン㈱、㈱Yu Vision、㈱インデックスコンサルティング、avatarin㈱、
奈良中央信用金庫、城南信用金庫、㈱奈良ホテル、㈱デルフィーノケア、
（公財）奈良先端科学技術大学院大学支援財団、やまと真空工業㈱、
関西文化学術研究都市センター、㈱MBT ジョブレオーネ、岡村印刷工業㈱、
㈱CTI グランドプラニング

・協賛企業には独自の広報活動で協賛 PR をお願いしている。
→ホームページで掲載、自社商品にロゴマークシール（右図）を
貼付、広告の中に記載、等々

9）－2）セミナー分科会

・難病克服支援 WEB セミナーの開催
難病に関わる研究者・医療介護者や患者支援者の活動をお知らせし難病への理解を深めてもらうセミナーを 2022 年度は下記の 2 回実施した（通算実施は 4 回）。

＜第 1 回目＞2022 年 9 月 17 日（土）

＊講師と講演タイトル
①国立精神・神経医療研究センター　病院長　阿部康二　氏
「神経難病の新しい治療」
②映画監督、おおさか映画学校代表　西尾孔志　氏
「映画は難病をどう描いてきたか」

＜第 2 回目＞2023 年 3 月 11 日（土）

＊講師と講演タイトル
①千葉大学　脳神経内科准教授　三澤園子　氏
「患者さんとくすりをつなぐ」
②幼児教室代表・講師　池江美由紀　氏
「あきらめない強い心をもつために」

9）－3）映画分科会

ｉ）難病克服支援 MBT 映画祭の開催

映像を通して難病の理解を深めてもらい患者や関係者を勇気づける映画祭を奈良医大と連携して下記の内容で実施した。

＜難病克服支援「第 2 回 MBT 映画祭」＞2023 年 1 月 14 日（土）

・実施内容：

① 短編映画の全国公募；”みんなで守るいのち“をテーマに、30 分以下の作品募集を行い、38 本の応募作品を得た。

② 応募作品審査；38 本の応募作品を 1 次審査で 7 本の入賞作品に絞り込み、1 月 14 日の映画祭当日に、審査委員長；篠原哲雄映画監督の下で 2 次審査を実施、最優秀賞 1 本、優秀賞 1 本、特別賞 2 本、クラウドファンディング観客賞 1 本を選んだ。表彰作品は以下のようである。

第2回MBT映画祭表彰作品		
賞名	作品タイトル	作品監督名
最優秀賞	レミングたち	角　洋介
優秀賞	ぼくときみの小さな勇気	相馬雄太
特別賞	私じゃない私に きょうだい児のものがたり	谺　嚆矢 （こだま こうし）
特別賞	夏の夜の花	高橋伸彰
ｸﾗｳﾄﾞﾌｧﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ 観客賞	私じゃない私に きょうだい児のものがたり	谺　嚆矢 （こだま こうし）

③ 映画祭；7 本の作品上映に加え、野田聖子衆議院議員によるタイトル「医療的ケア児との人生」の特別講演を行った（右写真）。
また、トークセッション、表彰式、及び特別上映として「Coda コーダあいのうた」の上映を行った。

ⅱ）MBT 映画祭入賞作品の全国各地での啓発上映

第 1 回映画祭コンテンツを活用し、難病克服啓発目的で全国各地での上映会を、以下の 2 回で実施した。通算実施は 3 回となった。

①2022 年 10 月 1 日（土）「MBT うめきた映画劇場」
うめきた 2 期開発区に隣接する“うめきた外庭 SQUARE”で、星空の下、屋外で実施。
気候に恵まれ約 100 人の参加者が

グランフロントの高層ビル群を背景に上映を観覧した。併せて奈良医大整形外科講師の重松英樹氏による「困った腰痛、その原因とセルフチェック」と題した特別講演も行った。

② 2023年2月18日（土）岡山県高梁市立図書館で上映会

高梁市市民を対象にした難病克服支援上映会と、併せて映画監督；西尾孔志氏のリモート講演を実施した。西尾孔志氏の講演タイトルは、

「映画と難病の関係はどう変わってきたのか？～ハリウッドと日本映画とMBT映画祭の話～」

10）在宅遠隔医療部会

10）－１）全国対応分科会

・既存の在宅遠隔医療との差別化を狙いに、“対象は富裕層”“自由診療による在宅遠隔医療”をキーワードにMBTモデルの構築検討のWEB会議を複数回実施した。最終案までには至っていないが、一定の方向付けの下で、事業性を検討中。を継続中。

10）－２）地域支援分科会

・会員企業が開発した商品を対象に、その中から在宅医療に適したと思われる商品を選定し、在宅医療現場での適性を評価する検討を医療者とともに推進中。

10）―３）在宅看護分科会

・奈良県の在宅医療ケアや看取りの活用率が全国レベルより高い状況を調査する奈良医大看護学科の取り組みを支援し、それらの情報に興味を有する会員企業に案内を行い参加を促した。

・また、2022年8月24日に、在宅医療ケア現場の第一線で活躍の下記の講師3人を招いて“講演と鼎談”を開催、WEBでも配信した。

＜講師と講演タイトル＞

① 宇都宮宏子氏（在宅ケア移行支援研究所宇都宮宏子オフィス）
タイトル「在宅医療ケア現場の現状と将来展望」

② 加藤久和氏（宇陀地域医療・介護連携ネットワーク運営協議会代表理事）
タイトル「地域包括ケアを推進するためのまちづくり～宇陀けあネットの効果と課題～」

③ 野村佳香氏（医療法人鴻池会秋津鴻池病院看護部長）
タイトル「在宅看護の現状と課題」

Ⅱ．MBTロゴマーク付与活動

・MBTコンソーシアム会員がMBT活動で創出した成果製品（ハード、ソフト、サービス）の製品価値向上を狙い、2021年度もMBTロゴマーク付与審査を行った。

・以下に、これまでのMBTロゴマークを付与した実績リストを示す。2022年度はNo18 ～

No19 の２件を実施した。

MBTロゴマーク使用許諾一覧（2022年8月2日現在）

通番	令和	月	日	会社名	該当商品
1	1	6	1	昭和西川株式会社	～耳石に優しい～睡眠頭位調節マットレス
2	3	2	18	大和リース株式会社	MBT感染症外来ユニット
3	3	2	5	モード・ユーニット工房株式会社	術中運動誘発電位（MEP）モニタリングに対応した弾性ストッキング
4	3	2	5	株式会社ケアコム	波形連携ナースコールシステム（SafetyNet/MBT）
5	3	2	18	レック株式会社	アルコールジェル手指消毒剤
6	3	2	18	レック株式会社	アルコ―ル配合ウエットシート
7	3	3	8	ユーハ味覚糖株式会社	柿渋を使用したキャンディ
8	3	3	8	カバヤ食品株式会社	柿渋を使用したキャンディ
9	3	3	8	カンロ株式会社	柿渋を使用したキャンディ
10	3	5	10	春日井製菓株式会社	柿渋を使用したキャンディ
11	3	5	25	株式会社奈良ホテル	New Normal Party Plan
12	3	6	25	グラストップ株式会社	ガラスコーティング剤「GT-Aa系」
13	3	7	18	やまと真空工業株式会社	銅合金応用商品（マスク＆仕切り板）
14	3	7	26	株式会社フジ医療器	トレビ・クリアゼロ（Fwo-3）
15	3	7	26	株式会社オーク製作所	スマートエキシマランプによるオゾン発生器
16	3	8	3	有限会社サンスバル	バスター８ 10ppm　他4点
17	3	12	22	ゼノン株式会社	ZENON 特殊アルカリ電解水（ｐH12.7）
18	4	8	2	株式会社イムラ	奈良県吉野郡川上村の吉野杉を使った内装材および構造材の一般販売
19	5	1	26	株式会社三笠	手指機能強化手袋

Ⅲ、奈良医大発ベンチャーの起業伴走支援

・新産業創生や新事業創生の推進や支援する MBT の立場から、2021 年度から奈良医大発ベンチャーの起業の事業化支援や出資支援（起業時に必要な資金相当の 30 万円）を行った。

・2022 年度は下記 2 社の起業支援を行った。

① モルミル株式会社

② 株式会社 MBT ジョブレオーネ

・奈良医大発ベンチャーは計６社になった。

奈良医大発ベンチャーの起業推移

No	起業日	社名	創業時代表者
1	2018.10.01	MBTリンク株式会社	梅田智広（MBT研究所研究教授）
2	2021.07.01	MBT微生物学研究所株式会社	矢野寿一（微生物感染症学講座教授）
3	2021.10.08	MBT感染対策支援 コンサルティング株式会社	笠原敬（感染症センター教授）
4	2022.01.04	株式会社 MBT保健医療衛生研究開発機構	今村知明（公衆衛生学講座教授）
5	2022.06.21	モルミル株式会社	森英一朗（未来基礎医学准教授）
6	2022.10.17	株式会社MBTジョブレオーネ	岡山弘美（人事課障害者雇用推進係長）

2022年度起業

①梅田智広氏

②矢野寿一氏

③笠原敬氏

④今村知明氏

⑤森英一朗氏

⑥岡山弘美氏

Ⅳ、展示会等への参加による活動・成果 PR

・MBT 活動や、その成果を一般の皆様にも PR する目的で各種展示会に参加した。

・2022 年度は、コロナ禍が少し和らいだ時期に大阪梅田グランフロントを会場に開催された、“関西の大学、研究機関等による最先端の技術などの研究成果を展示“の「ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝｽﾄﾘｰﾑ KANSAI」（主催：うめきたｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ未来機構）に、弾性編み物技術を応用して奈良医大と会員企業が共同開発した医療用品 2 点を展示した。

① MEP 用弾性ストッキング
（奈良医大：麻酔科学教室、モード・ユーニット工房㈱、㈱ユニークメディカル）

② 手指機能強化手袋
（奈良医大：リハビリテーション科、㈱三笠）

Ⅴ、その他の活動

1）オープンミーティングの開催

・2023 年 1 月 14 日（土）、有楽町朝日ホールで WEB 配信も並行して実施。

・最新の MBT 健康まちづくりの進捗や、難病克服キャンペーン協賛企業の協賛活動を中心に紹介

・講師と講演タイトル

① 奈良医大：MBT 研究所研究教授　梅田智広　氏
「動き出した医学を基礎とするまちづくり
～MBT 構想の実現へ～」

② ㈱三笠：取締役　磯村典子　氏、奈良工場長　田垣内健　氏
「MBT との共同開発　パーキンソン病の手袋について」

③ クオール㈱：代表取締役社長　柄澤忍　氏
「コロナ禍においてオゾン研究の実現について」

2）関係機関との連携協定締結

① 2023 年 2 月 15 日
「MBT 難病克服キャンペーン」の遺贈寄附に関する協定を三井住友銀行と締結

② 2023 年 2 月 27 日
奈良医大＆MBT コンソーシアムとよい仕事おこしフェア実行員会（事務局：城南信用金庫）が連携協定を締結

よい仕事おこしフェアは全国の信用金庫が中小企業の出会いの場を生み出すために 2021 年より開催のマッチングフェアである。この発想は MBT 活動との共通性が

高いことから今後の連携を期待して実現した。

３）奈良県からの要請に応える社会貢献活動

①「大和平野中央田園都市構想検討会」への参加

・多くの各界の著名人やアカデミアからのアイデアなどを取り込み、大和平野中央地域（三宅町、川西長、田原本町）の田園都市構想を検討し、国レベル補助金獲得の提案を目指して、2021 年 11 月に奈良県が勉強会をスタートさせた。

・アカデミアの意見を述べる立場から奈良医大の細井裕司理事長・学長が参加し、MBT コンソーシアムは都市構想づくりに関わる会員企業が検討テーマに対応したアイデア提案を行った。

②「令和４年度　医大・周辺まちづくり検討会」への参加

・奈良医大の新キャンパス移転に伴い、まとまった空き地ができることから、近鉄橿原線に新駅を誘致し、「医大隣接の利点を活かした新駅設置による賑わいのある健康増進のまち」をテーマとして、まちづくりを検討することとなった。

・奈良県から、MBT コンソーシアムに検討メンバーとして会員企業を推薦して欲しいとの要請があった。この要請を受け、会員企業 6 社を推薦した。

・検討会は令和 4 年度は 3 回に分けて、「健康」「賑わい」「医学活用」の各機能検討テーマで行われ、最終的に行われたまとめに MBT 関係提案も盛り込まれた。

Ⅵ、広報活動

１）MBT ジャーナルの発行

・MBT 活動を半年単位でジャーナル「MBT CONSORTIUM」にまとめて印刷製本発行し、会員のみならず広く一般人も対象に MBT の活動内容を紹介した。

① Vol.11　2022 年 9 月に発行

② Vol.12　2023 年 2 月に発行

２）MBT ニュースレターの発行

・MBT の主要な活動やイベントなどをタイムリーに会員や奈良医大の教職員・学生にお知らせする手段として、MBT ニュースレターを発行し、会員にはメールで、奈良医大教職員には印刷配布した。2022 年度は第 136 号から第 201 号まで計 66 回発行した。

３）YouTube での MBT 活動紹介

・MBTコンソーシアムのYouTubeアカウントを作成し、上述の難病克服支援WEBセミナー、難病克服MBT映画祭記録映像、更にはデジタルサイネージコンテンツ等を紹介した。

４）SNS（Facebook、Twitter）の活用

・広告内容に対応したユーザーを絞って広報が可能な費用対効果の良さや、若者をはじめ幅広い世代層でスマホ活用が浸透してきた背景を踏まえ、イベントや活動内容のＰＲを

ＳＮＳで実施した。

５）クオール㈱デジタルサイネージを活用した MBT 活動 PR

・本年度も、全国に約直営 600 店舗の直営薬局を保有する会員企業クオール㈱の協力を得て、店舗に備えられたデジタルサイネージで、MBT 活動成果やイベント情報を毎月のコテンツに組み入れさせていただき配信を行った。

７）Web・新聞などメディアでの MBT 紹介（MBT 関連記事の回数）

・2022 年度までの累計を示す。

＜MBT関連の報道数・対外紹介数＞

2014年1月～2023年３月31日　現在

種　類	報道数・対外紹介数（累計）
ＴＶ	４５
書籍	１２
新聞	１５３
ＷＥＢ	１６３
企業誌	１５
広告	２３
報道資料	１８
その他	1
合　計	**４３０**

Ⅶ、ＭＢＴコンソーシアム会員の増減

・2022 年度の会員の入会，退会の動きは以下のとおりである。

（注記：年度末～年度初めにかけて 2023 年度会費の請求を行っているが、この時期に入退会が頻発しているので、2023 年理事会時点での会員数実態をお知らせするために、5 月 10 日時点の数字を掲載）

2021 年度末	215 会員	
2022 年度入会企業	15 会員	
2022 年度退会企業	41 会員	※2 社は 2022 年度に入会して、退会
2022 年 5 月 10 日現在	189 会員	

2022年度退会会員

1	津田塾大学　総合政策学部　伊藤由希子教授	
2	リーズンホワイ株式会社	
3	株式会社日田天領水	
4	丸紅木材株式会社	
5	株式会社ケミカル・テクノロジー	
6	株式会社オーク製作所	
7	BESTJAPAN株式会社	
8	株式会社アズマ	
9	株式会社MONDOCOLO	
10	株式会社暁星ジャパン	
11	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	
12	高橋練染株式会社	
13	キリンホールディングス株式会社	
14	株式会社イマナカ	
15	アフラック生命保険株式会社	
16	マクセル株式会社	
17	一般社団法人観光品質認証協会	
18	丸石製薬株式会社	
19	株式会社マンダム	
20	株式会社ブレス	
21	株式会社エンプラス研究所	
22	株式会社HBコーポレーション	
23	アイテック阪急阪神株式会社	
24	セイリン株式会社	
25	東洋アルミニウム株式会社	
26	株式会社MID	
27	inQs株式会社	
28	株式会社エアリッシュ	
29	株式会社くろがね工作所	
30	株式会社ウイズユー	
31	株式会社グローイング	
32	BIN株式会社	＊
33	株式会社環境改善計画	＊
34	コニカミノルタ株式会社	
35	株式会社Kirala	
36	美商堂製薬株式会社	
37	オーブ・テック株式会社	
38	サンワテクノス株式会社	
39	応用電機株式会社	
40	株式会社MTG	
41	MS&ADｲﾝﾀｰﾘｽｸ総研株式会社	

2022年度入会会員

1	三菱ガス化学トレーディング株式会社	
2	シンクス株式会社	
3	奈良中央信用金庫	
4	城南信用金庫	
5	株式会社ディー・エヌ・エー	
6	株式会社ADI.G	
7	株式会社Yu Vision	
8	株式会社読売新聞大阪本社	
9	株式会社農業総合研究所	
10	五條メディカル株式会社	
11	株式会社日本経済社	
12	株式会社電響社	
13	BIN株式会社	＊
14	株式会社環境改善計画	＊
15	株式会社タカギ	

＊：2022年度に入会し、2022年度に退会

・会員の業種別リストを下記に示す（2023 年 5 月 10 日現在：189 会員）

MBTコンソーシアム会員業種別リスト

業種	MBTコンソーシアム会員	企業数
建設	㈱イムラ、㈱奥村組奈良支店、㈱片山工務店、㈱きんでん奈良支店、㈱グッドライフ、グリーンアーム㈱、㈱崎山組、 積水ハウス㈱、大和ハウス工業㈱、大和リース㈱、㈱内藤建築事務所、㈱中尾組、松田電気工業㈱、㈱松田平田設計、㈱ライフアートプランテック	15
食品	石井物産㈱、江崎グリコ㈱、㈱大阪王将、春日井製菓㈱、カバヤ食品㈱、カンロ㈱、三和澱粉工業㈱、タヒボジャパン㈱、 UHA味覚糖㈱	9
繊維・パルプ・紙	㈱イムラ、㈱サンロード、㈱島田、㈱新生、住江織物㈱、㈱タカギ、㈱高木包装、帝人フロンティア㈱、東洋紡㈱、㈱Bonrich、 ㈱三笠、モード・ユーニット工房㈱	12
化学	旭化成㈱、石原産業㈱、SBカワスミ㈱、積水マテリアルソリューションズ㈱、㈱テクノーブル、 ナスクナノテクノロジー㈱、ナノソリューション㈱、三菱ガス化学トレーディング㈱、明晃化成工業㈱、山本商事㈱	10
医薬品	クオール㈱、㈱グランソール免疫研究所、佐藤薬品工業㈱、塩野義製薬㈱、新大和漢方㈱、積水メディカル㈱、中外製薬㈱、㈱ツムラ、 ロート製薬㈱	9
鉄鋼 ・非鉄・金属	（一社）日本銅センター、丸一鋼管㈱、三菱マテリアル㈱	3
機械	グローリー㈱、KTX㈱、シンクス(株)、㈱タカゾノ、㈱タカトリ、DMG森精機㈱、テクノグローバル㈱、不二精機㈱、 三菱重工パワー環境ソリューション㈱、ユニオンツール㈱	10
電気機器	㈱アイ・オー・データ機器、アイワ㈱、㈱AirLabo、㈱エム・エイチ・シー、オーニット㈱、 ㈱オーディオテクニカフクイ、㈱カルテック、㈱コムテック、G-smatt Japan㈱、シャープ㈱、シャープディスプレイテクノロジー㈱、 ㈱タムラテコ、㈱ドゥエルアゾシエイツ、日本捲線工業㈱、パナソニック㈱、富士通Japan㈱、 ㈱フジファインズ、㈱村田製作所	18
医療・精密機器	岩崎工業㈱、エア・ウォーター㈱、㈱ADIG、大研医器㈱、キヤノンメディカルシステムズ㈱、㈱ケアコム、 セン特殊光源㈱、テルモ㈱、凸版印刷㈱、奈良精工㈱、ニプロ㈱、㈱ビーイージー、フクダ産業㈱、㈱プロルート丸光、バイオゾーンメディカル㈱	15
その他製造	あけぼの化成㈱、エクレール㈱、㈱オーシャン、落合ライト化学㈱、 カナサシテクノサービス㈱、グラストップ㈱、㈱K&S、ケイミュー㈱、 三友商事㈱、㈱J-STYLE、昭和西川㈱、㈱ゼノン、ダイドレ物流㈲、㈱デルフィーノケア、 ㈱半導体エネルギー研究所、㈱ピカッシュ、㈱プチファーマシスト、 やまと真空工業㈱、㈱REO研究所、氷川消毒（ラフェスタリンク㈱）、レック㈱	21
商業	㈱電響社、㈱農業総合研究所、㈱Yu Vision	3
金融・保険	城南信用金庫、損害保険ジャパン㈱、東京海上日動火災保険㈱奈良支社、 奈良中央信用金庫、㈱南都銀行、日本生命保険(相)、㈱三井住友銀行	7
運輸・倉庫	近鉄グループホールディングス㈱、五條メディカル㈱	2
情報・通信	㈱NTTデータ経営研究所、近鉄ケーブルネットワーク㈱、㈱三技協、㈱産業経済新聞社、Takusu㈱、西日本電信電話㈱奈良支店、 日新ネットワークス㈱、㈱日本経済社、㈱日本経済新聞社、ピクシーダストテクノロジーズ㈱、㈱プロアシスト、㈱三菱総合研究所、 ㈱読売新聞大阪本社	13
電力・ガス	大阪ガス㈱、関西電力㈱、㈱関電エネルギーソリューション、大和ガス㈱、奈良電力㈱	5
サービス	㈱アデランス、㈱アリエル、RFJ㈱、ALSOK昇日セキュリティサービス㈱、㈱インデックスコンサルティング、㈱SRA、 環境衛生薬品㈱、北関東綜合警備保障㈱、㈱健康都市デザイン研究所、（一財）弘済会、㈱小山、㈲サンスバル、 セコム㈱橿原支社、大和リゾート㈱ THE KASHIHARA、㈱ディー・エヌ・エー、㈱ドクターネット、㈱ドトールコーヒー、㈱奈良ホテル、 ㈱日経アドエージェンシー、ニューロンネットワーク㈱、（同）force、ヘルスグリッド㈱、明豊ファシリティワークス㈱、㈱メディカルノート、 メディケアリンク㈱、㈱ライフビジネスウェザー、㈱レスコ、ロイヤルコントラクトサービス㈱、 ㈱ローソン奈良支店、ワタキューセイモア㈱	30
公共・その他 （自治体、大学、病院）	（医）梅華会、橿原市、東急㈱東急病院、（一社）奈良経済産業協会、奈良県、奈良県立医科大学、奈良友紘会病院	7
		189

以上